平成 22 年 3 月 14 日

報告

第 7 回学際物質戦略イニシアチブ バイオグループシンポジウム -酸化ストレスと疾患-

主催：筑波大学学際物質戦略イニシアティブ
共催：文部省科学研究費特定領域研究「ソフト界面」
共催：世界トップクラス拠点 NIMS 国際ナノアーキテクトニクス研究センター

長崎幸夫 *

2009 年 3 月 14 日(土)、筑波大学つくばキャンパスにおいて第 7 回学際物質科学イニシアティブバイオグループシンポジウムを行った。今回は前回に引き続き、「酸化ストレスと疾患」という観点を中心とし、6 件のご講演を頂いた。このシンポジウムのねらいは筑波大学戦略イニシアティブ機構が推進している学際的研究の推進の一貫として、異分野間の融合研究の推進による新たな学際領域を創出していこうとするものである。

今回のシンポジウムは前回に引き続き、様々な疾患に強く関与することが明らかになりつつある酸化ストレスを中心に、広く様々な疾患や基礎的研究成果のご発表を頂いた。

まず、筑波大消化器内科の松井講師が小腸及び肝臓に対する酸化ストレス疾患の影響に関して詳しくご説明された。近年胃潰瘍に代わる消化器疾患として、痛み止め薬剤に対する酸化ストレスと治療に関する研究成果に注目が集まった。次に徳島大学宇都准教授による「抗酸化剤と酸化ストレスの新しい評価法」に関する御講演を頂いた。様々な抗酸化物質の合成と評価はもとより有精卵を用いた ex vivo 評価系を立ち上げ、その評価法に関してご説明された。安価で効果的な評価法にたくさんの質問があり、議論が白熱した。

筑波技術大学平山教授は腎臓疾患のご講演、筑波大学脳神経外科の丸島氏は脳血管疾患に対する酸化ストレスの影響と脳梗塞再灌流に対する研究成果をご発表いただいた。さらに筑波大学代謝内科の島野教授には糖尿病と酸化ストレスに関する成果のご発表を頂いた。臨床医同士でも縦割り的環境が強く、異なる疾患に対する酸化ストレスを中心とした議論が白熱した。

最後は筑波大学基礎医学として、石井教授に酸化ストレスと疾患発現メカニズムに関するご研究成果をご発表いただき、基礎と臨床の近接が見られたように思う。

6 件のご講演の終了後、タイムラプスビジョン社の富田氏による「酸化ストレスを可視化する」ビジュアル技術の紹介があり、特に微小管の画像が技術を始めてみる方々の度肝を抜いた。

講演終了後、交流会を行い、共同研究を含めた研究交流が展開され、有意義なシンポジウムを閉じた。

最後に本シンポジウムに多大なご協力を頂きました文部科学省特定領域研究「ソフト界面」及び筑波酸化ストレス研究会に感謝いたします。

---

*筑波大学学際物質科学研究センター

****

第7回学際物質戦略イニシアチブ
バイオGPワークショップ
―酸化ストレスと疾患―

****

13:00-13:10 ご挨拶
筑波大学院数理物質科学研究科　長崎幸夫

13:10-13:50 酸化ストレスと消化器疾患
筑波大学院人間総合科学研究科　松井裕史

13:50-14:30 抗酸化剤と酸化ストレスの新しい評価法
徳島大学院ソシオテクノサイエンス研究部　宇都義浩

14:30-15:10 酸化ストレスと腎疾患
筑波技術大学東西医学統合医療センター　平山　暁

15:10-15:30　休　憩

15:30-16:10 酸化ストレスと脳疾患
筑波大学院人間総合科学研究科　丸島愛樹

16:10-16:50 酸化ストレスと生活習慣病
筑波大学院人間総合科学研究科　島野　仁

16:50-17:30 酸化ストレス防御系の研究
筑波大学院人間総合科学研究科　石井哲郎

特別紹介
17:30-18:00 目で見る酸化ストレス
Time Lapse Vision 富田　勉

2010年3月13日(土)
筑波大学総合研究棟B0110教室
〒305-8573茨城県つくば市天王台1-1-1
主催　筑波大学学際物質戦略イニシアティブ
共催　つくば酸化ストレス研究会
共催　文部科学省振学術領域研究「ソフト界面」